



手話サークル研究班



～ 「手話」は聴覚障害者にとって大切な言葉です ～

～ 「手話サークル研究班」の思い ～

メディアや地域で開催されている手話講習会の影響で手話に興味を持つ人たちが増え、「手話」に対する理解は確実に広がってきました。

でも、「手話」への理解が広がることと、「聴覚障害者」への理解が広がることは、イコールではありません。

手話に関われる時間、年齢等々、さまざまな条件の人たちが集うサークルでは、当然手話技術レベルはまちまちだと思いますが、そこにこだわる前に「手話」を健聴者の自己満足な趣味に終わらせることなく、学んだ手話を通して「聴覚障害者と共に歩む」ということが大切だと思います。

「手話サークル」の役割は、学んだ手話を通し、ろう者と交流しながら「手話」と共に「聴覚障害」に対する理解を深め、聴覚障害者と地域をつないでいく「手話に学ぶ場所」だと考えます。

～ 「手話サークル研究班」のプロフィール ～

☆2004年4月、9名のメンバーで発足。

☆神通研集会・分科会「手話サークル」の運営を担当。

☆その他、神通研・関東通研・全通研の行事、集会に参加。

☆2008年1月現在、川崎2、横浜4、県域10 計16名で活動中！！

～ '08 9/14 神通研集会報告③～

☆「神奈川県手話サークル連絡協議会」からの報告
災害に関しては、H17年から取り組んでいます。2月に行った懇談会の中で、昨年話し合った内容のその後・・・ということでサークル活動の中で取り組めることの情報交換をしました。ろう者とサークル会員で避難所毎にグループを作って交流会を行った。地域の訓練にろう者とサークル会員がいっしょに参加し、講演を通して聴覚障害者を理解してもらった。避難所の備蓄倉庫に掲示板を置いてもらうように活動している等の報告がありました。

☆「厚木市」の取り組み

毎年、9月1日前後の日曜日に厚木市全域の町内会単位で防災訓練が行われています。昨年からは福祉課が主体となり、障害者のための防災訓練も始まりました。手話通訳派遣も行われています。今年2回目になりますが、AED（自動体外式除細動器）の使い方訓練も行われ、昨年よりも参加者も増えたとのこと。

～ 定例会1/17(土) ～

明けましておめでとうございます。

今年も手話に関わるみなさまにとって良い年でありま

すように・・・
1/17に開催した「災害」の学習会には48名の参加があり、関心の高さがうかがえました。日頃からの地域の人たちとの関わりが大切だということ。手話に関わる人たちが集まる第2避難所的なものを設けておくことも良いのではないかと提案もありました。今後もサークルの大切な役割として「災害」については取り組んでいきます。

【次回定例会】

2/21(土) 12:10～14:00

県民活動サポートセンター 701

～サークル研究班メンバーのささやき～

私の「マイブーム」

その① 宮部みゆき と 東野圭吾。『流星の絆』の犯人はあれでいいの？と思ったのはわたしだけ？・・・

その② マトリョーシカグッズの収集。ちなみに本物のマトリョーシカは雑貨屋さんで5000円位で売ってました。

その③ 付箋の収集。鎌倉の小町通りからちょっと入ったところにかんりの種類の付箋が売ってます。今年もまた新しいお気に入りの出会いいたいなあ・・・？

ペンネーム：しゅんしゅんママ